

第4第 そけいヘルニア 手術前日の夜まで いつもの生活を

Dr. 村田の
HGS!
(日帰り・外科・手術)

外科手術は、入院をする場合は手術前日の夜から絶食と点滴になりますが、「日帰り外科手術」では手術前夜まで日常生活通りに過ごしていただけます。夕食も何時までという制限はありません。もちろん食べていけないものはありますが、暴飲暴食はしないように気をつけてください。常用している薬も決められた回数をお飲みいただきます。服用できない薬の種類は特にはありません。例えば、血液をサラサラにする抗血小板薬も大丈夫です。気になるアルコールですが、こちら控えめであればかまいませんので程々で楽しんでください。水分の摂取は全く制限ありません。

手術に臨むために一番大切なことは、体調管理です。熱、咳がでるなど、症状によっては延期になることもありますので、風邪をひいた時には必ず連絡をしてください。予定通り行うためにも睡眠不足の状態が続かないように日々を過ごすことが重要になります。普段から睡眠導入剤を飲まれている方は、いつも通りに服用してください。緊張での寝付きが心配という患者さんには、ご希望であれば軽い睡眠導入剤を1回分処方します。お風呂に入ってリラックスしてから就寝前に服用し、ゆっくりお休みください。

夜の7時からのイブニング手術（金曜日）は、当日の昼食と薬の服用まで普段通りになります。おなかが空かれるようでしたら、5時前までになら軽食をとられても結構です。

そけいヘルニア Q&A

Q お酒は、どんな種類でも飲んでいいのですか。

A どんなお酒でも飲んでいただいて大丈夫です。入院の手術と違って、日帰りの外科手術は少量のお酒であれば禁止にはなりません。

Q 女性で特に必要なことはありますか。

A マニキュアとペディキュアはできるだけおとしてください。指にクリップをつけるためです。男性、女性どちらも手足の爪を切っておいてください。その他は特にありません。



楽天イーグルスとベガルタ仙台の大ファンの村田先生。一人でも多くの患者さんに向き合うためのエネルギー源！



明るいナースのみなさん。活き活きとした笑顔でポーズをとってくれました